

**教育目標:** 自ら考え 判断できる人(確かな学力の定着)、心身ともにたくましい人(健やかな体の育成)、心豊かな思いやりのある人(豊かな心の醸成)、互いに協力し 創造できる人(輝く未来の創造)  
**目指す学校像:** 授業を通して互いに高め合える学校、生徒の人格と未来が尊重されている学校、校風「団結・克己・責任」を継承・発展する学校、大規模災害を想定した防災教育の充実が図られている学校  
**目指す生徒像:** 人として大切なこと、社会に出た時の基本を身に付けている生徒 超スマート社会 Society5.0に向けて、自ら学び、世界の平和を願い、国際社会に活躍できる生徒  
**目指す教師像:** 生徒に達成感を味わわせ、確かな学力・自己肯定感を育ませることのできる教師 必要に応じて、毅然とした態度で指導にあたることのできる教師

領域	中期目標	短期目標	具体的方策	努力指標 (中間)	努力指標 (最終)	成果指標 (中間)	成果指標 (最終)	今後の課題	学校関係者評価記入欄
学校の居心地感	人権尊重の精神を基調とした教育活動を推進し、豊かな心を醸成する。	・より良い人間関係を築く力、協力して学級や学校の生活の充実・向上を図る力の育成	ペップトークを日常的に実践し、前向きな人間関係の形成を行う。アセスを実施し生徒の居心地感を把握する。	3	4	4	3	・ペップトークの実践を教員・生徒お互いに高めていき、その効果についても継続して検証していくことが大事。 ・不登校傾向が出ている生徒への迅速かつ、生徒本人の気持ちに寄り添った対応が必要。	・アクティブラーニングを取り入れた授業が多く、男女間の関係も良いように思う。コミュニケーションを通じて、居心地感も向上すると思う。 ・生徒同士のコミュニケーションがしっかり取れている。ペップトークを学ぶ機会は大事。
		・「特別の教科 道徳」の授業内容の充実と評価の工夫	内容と共に評価方法を工夫し、自分の考えをもち、議論する道徳へと授業改善を行う。	3	3	4	4	・保護者に「考える・議論する道徳」に、どのような取組があったのが伝わっていない。 ・道徳地区公開講座の保護者の参加が数人と少ない。公開講座の在り方と保護者の意見をどう取り込むかが課題。	・道徳地区公開講座の保護者参加率を上げていく取組が必要。 ・アンケートでの少数の意見についても目を向けていってほしい。
学びに向かう力	各教科の見方・考え方を明確にして、確かな学力を定着し、健やかな体を育成する。	・生徒の探究的活動、主体的・対話的で深い学びの実現 ・読書習慣の定着による、学びの基礎となる読解力の向上	タブレット端末を活用した、主体的・対話的で深い学びへの授業改善を行う。	2	3	4	3	・タブレット端末の活用が徐々に広まりつつあるが、学校全体で組織的な活用方法や開発に取り組みなくてはならない。具体的に時間を設定し、定期的な研修会を設定する必要がある。	・オンラインでの修学旅行やスキー教室説明会はトラブルも無く、生徒も保護者にとっても良かった。 ・ICTの活用が進んでいることを実感したが、デジタルの良さアナログ(黒板とチョーク)の良さ両方を生かして欲しい。
		・運動の日常化による体力・運動能力の向上	学校の図書館司書・司書教諭を活用し、読書活動推進のイベントを充実する。	—	4	—	4	・生徒の利用率をさらに上げるために、生徒が利用したいと思える図書館づくり。 ・イベントに頼ることなく、常に図書館を身近に感じることができるよう取組の推進が必要。	・図書館を活用した探究活動は、調べ学習に適していると考えます。今回見学した社会科の授業では個々での取組なのか、グループでの取組なのかが分らなかった。
			体育健康教育推進校の取組み及び年3回の体力テストの結果を工夫し運動の日常化を図る。	3	3	4	3	・次年度は体育健康教育推進校2年目となる。体力向上と共に健康(栄養面)向上を目指した、授業改善や取組の工夫を推進していく。	・1年生のダンスは、一生懸命に取り組んでいて、素晴らしかった。仲間同士の励まし合いが素晴らしい。授業を見れば学校の雰囲気が良いことが分かる。
未来に向かう力	保護者・地域・関係機関と連携した取り組みを充実し、輝く未来を創造する力を育てる。	・地域に貢献しようとする態度、自治能力の育成	青少年健全育成北地区委員会、公民館、小学校と連携した各種取組みへの参加を推進する。	4	4	4	4	・地域行事への参加意欲や地域貢献意識は高いため、参加状況も増えていくはずである。子供たちが楽しく参加したいと思えるイベントづくりに学校からも協力をしていく。	・国分寺学の取組、特に「ゆでまんじゅうづくり」について小学校との連携が素晴らしい。 ・公民館祭り等への生徒参加もあり、地域との連携を楽しみにしている。
		・キャリア発達に関わる諸能力の向上	部活動、職場体験学習など指導を充実し、将来への見通しをもたせる。	3	4	4	4	・訪問先の確保が課題であるが、教育委員会や市役所、市内中学校と連携を図り、多くの地域人材を活用して、生徒の興味関心、達成感のある有意義な体験となるよう取組む。	・職場体験が復活して、生徒たちが地域に快く受け入れられていることが嬉しい。 ・この良き取組が、どう継承されるのか、将来の自立を考えたキャリア教育の充実を望む。